

北海道新幹線倶知安駅舎デザイン案

推 薦 書



倶知安町

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

北海道新幹線建設局

局長 長谷川 正明 様

推 薦 書

令和5年10月17日に貴殿より提案された北海道新幹線倶知安駅舎デザイン案について、町が要望したデザインコンセプト「羊蹄の四季の恵み～ふるさとと世界が出会う駅～」を反映した、新たな町の顔にふさわしいデザインであったことに感謝申し上げます。

町では、駅舎デザインアンケートを実施し意見を募るとともに、北海道新幹線倶知安駅周辺整備推進委員会において行われた議論を参考にしながら検討を重ね、この度、次のとおり推薦案を決定しましたので、お取り計らいのほどよろしくお願いいたします。

令和6年 月 日

倶知安町長 文 字 一 志

倶知安駅舎デザイン 推薦案



A案

「倶知安の四季とつながる

舞台の駅」

【推薦理由】

- ・デザインアンケートにおいて最も評価が高かった。
- ・要望したデザインコンセプトをよく表現している。
- ・大開放ガラスの透明感が、周囲の自然と駅内の調和を生み出す。

【付帯意見】

《外部》

- ・方立等、温もりが感じられる外観としていただきたい。
- ・気候風土との調和という観点から、雪庇などの冬季対策に配慮していただきたい。
- ・

《内部》

- ・駅舎の内装については、地域で産出される木材などの自然産材を使用し、暖かみと自然を感じられる構内としていただきたい。
- ・
- ・

《全体》

- ・駅舎整備にあたっては、東西駅前広場などの周辺施設との調和や連続性に配慮していただきたい。
- ・大開放ガラスについて、ガラスシートは景色を損なわない適切な密度のデザインにしてくださいとともに、汚れにくい加工などに配慮いただきたい。
- ・駅舎デザインアンケートに寄せられた意見に留意していただきたい。
- ・

【参考資料】

- ・令和6年2月22日（木）、倶知安町景観デザイン会議が開催され、デザインアンケートで最も評価が高かったA案について、周辺との調和も含めた景観の視点から意見をいただきましたので共有します。
- ・駅舎に係る意見の一部については、今回の推薦書案の付帯案に活用しています。

《外観》

- ・新幹線に乗ってくる方々の目的によって、どちら側に降りるか（町側・西側）で結構違ってくるのではないかと。特にホテルに向かわれる方は、西側で受け止めることになると思うので、西側も同じデザインという説明ではあったが、両面ともに正面性があることを改めて認識しながらデザインしていただければ。
- ・ガラス面に貼るドット柄については、濃い内側からの景色が見えにくいでしょうし、外側から目立つようにし過ぎても、野暮ったくなるでしょうし、難しいとは思いますがバランスをよく考えて適切な密度のデザインにしていきたい。
- ・B案を評価する声もあり、その中で「温もりが感じられる」一方A案は「ガラスが大きく無機質」という意見もあった一方で、ガラス面の内側にある木目調パネル等含めて温かみのあるようなことを意識されているところもあり、そこは評価できる、一方で、方立の部分がデザインのアクセントになっているという説明があったが、金属の質感になってくると思うので、木目等で何かしら、あたたかみが感じられるようなデザインということを追加で検討いただきたい。
- ・ドットシートについては、本当に必要なのかと意見があった。一方で、衝突防止、日射の抑制などの追加の機能があるのであれば、倶知安らしさも踏まえた中での機能性ということで検討いただきたいと話があった。
- ・大きな建築物になるため、出来る限りシンプルに。
- ・サッシ、方立については、一体感を出来る限り損ねないようなデザインを。（割り付けが細かすぎる）
- ・ドットシートについて。外との繋がりを損なうようなものであれば入れるのは控えた方が良いのでは。
- ・気候風土との調和という観点から、東側には雪庇が出来そうということで、雪庇対策についての説明もあったが、広場を通る方々の安全性についても、倶知安らしいデザインになると思うため、ご配慮いただきたい。
- ・ガラスを多用されるということは、汚れなどのメンテナンス、もしくは汚れにくい加工といったご配慮をいただきたい。
- ・駅舎とキャノピーが一体的に見える風景になるため、サッシの割り付け、アルミの色味、適切な分節等、しっかりしていただきたい。
- ・一般部については、木目調パネルではなく、普通のペイントのパネルということで、のっぺりとした表面になる訳だが、のっぺりとしたところに薄い茶色を使うと、違和感があると思う。上と下で色を変えるですとか、或いはもっと濃い茶色を使う等の再検討をお願いしたい。

《内装》

- ・ホームに降り立ったときにも、自然を感じていただける方が良いのではないかという意見もあった。ホームの柱に自然素材を用いる、用いることは出来なくとも貼ってみる、という工夫は出来ないか。

《駅前広場》

- ・キャノピーについては、都市施設の上から見ると、どうしても視線に入ってしまうため、キャノピーの屋根面、少し落ち着いた色合いにする工夫をしていただき、視覚的な調和を意識していただきたい。
- ・駅前広場について、北海道の整備ということでしたが、駅前広場のデザインは、駅舎と町をつなぐ非常に重要な場所だと思うので、連続性を感じられるようなデザインをしていただきたい。路面仕上げや照明柱など、全体的な調和が図られるようなデザインに。整備部隊は別になると思うので、横の連携をしっかりと。
- ・キャノピーについて、駅舎デザインとの一体感には期待したいという意見がこちらもあった。照明のデザインについても、色々やり方はあると思うので、冬になると夜も長いですし、冬になっても素晴らしい冬の景観が作れるようなデザインを期待したい。
- ・キャノピーについては、雪が上に乗ったままだと重たいデザインになってしまう。雪下ろしなどを考えたデザインが必要ではと意見があった。

《都市施設》

- ・都市施設については、方立のあたりになるかと思いますが、目に触れやすい部分になるため、内側に自然素材を用いるとお話でしたが、方立等のところにも自然の素材が見え隠れする形にしてもらえれば、より目線に近い部分で自然を感じられる形になるのではないかと。
- ・都市施設について、テラス部分は大きな効果が生まれる部分だと思うので、居心地の良い空間になるように。また、駅舎の方から大きな屋根、庇などで覆う、大きく包み込めれば良いのではないかと話があった。また、冬についても出窓として利用が出来れば。

《その他》

- ・駅舎の照明について、現在町の街路灯は、割とあたたかみのある色を設定されているので、あたたかみが駅まで続いていくような形での夜間照明の連続感みたいなものも感じられるように意識していただければ。
- ・駅舎については、新幹線が来るという一方で、防音壁などで、なかなか新幹線が見えないということで、なかなか新幹線を見たり触れあえることができないという中で、新幹線が見えるような場所はなるべく増やしてほしい。駅舎拡幅部においてはガラスが大きく取られているが、一般部では、そこまで大きくないデザインとなっているため、中から外を眺められる、また、外から中を見ることができるよう、という希望の意見があった。
- ・駐輪場の配置については考えなおしてほしい。
- ・外に見える或いは映り込む風景を大事にということをもう少し織り込んでいけるのではないかと。